

日本生殖看護学会 ニュースレター

No.
67

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目次

・令和6年能登半島地震へのお見舞い	1
・第22回日本生殖看護学会学術集会のご案内	2
・研究結果をどう臨床に応用するか	3
・日本生殖看護学会 理事および監事選挙告示	4
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿No.24	5
・日本生殖看護学会のメーリングリスト作成に向けて	5
・理事会報告	6
・これから行われる学術集会・研修会情報(2024年3月～2024年6月)	7
・本学会は健やか親子21の推進本部の参加団体です	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数MAP	8
・原稿を募集しています!	8
・編集後記	8

令和6年能登半島地震へのお見舞い

日本生殖看護学会理事長 上澤悦子

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。日本海側はこの時期、寒冷で積雪の時期でもあり、低体温症での災害関連死や安否不明者の報道を日々聞くたびに、真に心が痛みます。一日でも早く暖かい春が巡り、安堵できる日常生活が戻ることを願いつつ、被災地域で支援活動に尽力されている皆さまに心から敬意を表します。

そんな災害から新年を迎えた2024年は、中国古代の経験科学から生まれた今年の干支では甲辰(きのえたつ)であり、“甲”はものごとの始まりの性格を、“辰”は成長の年を指します。これまで努力してきたことがグンと飛躍し、さらなる成長を期待できる年と言われています。不幸な出来事も安全な生活環境の意識向上の始まりとなればと考えるばかりです。

また、人々の多様な価値観への変化もあり、生殖の課題に悩む個人やカップルは、今後ますます増加していくことが予想されます。医療だけでは解決できないリプロディティブ・ヘルスの課題に対し、生殖看護を専門とする我々の臨床実践力と研究力を発揮し、さらなる飛躍と成長に向けて努力していきたいです。

第22回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョン — 多様化する家族形成を考える —
日時：2024年9月22日（日）
会場：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）

学術集会では、多様化する家族形成を取り巻く社会をダイバーシティ（多様性）&インクルージョン（包摂）の視点から眺めてみたいと思います。カップルの意思決定は子どもの福祉にもつながるため、シンポジウムでは、生殖医療で生まれてきた子どもの福祉を考慮した今後の生殖看護のあり方について、皆様と考え、語り合う機会にしたいと思います。前日の午後はセミナーも企画しております。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。（学術集会長 林はるみ）

- 9月21日（土）前日セミナー（予告なく変更する場合がございます）※オンデマンド配信予定
13：30～「看護職が知っておきたいトランスジェンダー入門」★
高井ゆと里氏（群馬大学情報学部 准教授）

- 9月22日（日）学術集会プログラム（予告なく変更する場合がございます）※オンデマンド配信予定

9：00～	受付開始
9：30～ 9：55	開会挨拶 会長講演「生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョン」 林はるみ（群馬大学ダイバーシティ推進センター）
10：00～ 11：20	一般演題（口演および質疑応答）
11：30～ 12：30	教育講演「生殖技術と親になること（仮）」 柘植あづみ氏（明治学院大学 教授）
12：40～ 13：40	ランチョンセミナー
13：50～ 14：30	総会
14：35～ 15：05	一般演題（ポスター）
15：15～ 16：55	シンポジウム「多様化する家族形成と支援のあり方」★ 卵子提供で出産した女性、看護師、社会福祉士、養子縁組の支援者
16：55～ 17：05	優秀演題表彰・閉会

★マークのついているプログラムは、CLoCMipレベルⅢ認証申請の選択研修です。

- 学術集会参加登録・参加費

第1期参加登録：2024年3月5日（火）～7月7日（日）12時まで

参加費：会員6,000円、非会員7,000円、学生（大学院生・研修生は除く）2,000円

第2期参加登録：2024年7月8日（月）～8月25日（日）12時まで

参加費：会員7,000円、非会員8,000円、学生（大学院生・研修生は除く）2,000円

- 演題登録期間：2024年3月5日（火）～5月10日（金）

※筆頭演者は本学会の会員であること。共同演者は本学会の会員である必要はありません。

お問い合わせ先

第22回 日本生殖看護学会学術集会 事務局
群馬大学ダイバーシティ推進センター内
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
事務局E-mail：jsfn22th@academic-meeting.com
学術集会HP：https://academic-meeting.com/jsfn22th
事務局担当：林はるみ

研究結果をどう臨床に応用するか >>>>>

東北大学病院不妊症看護認定看護師 高橋恵美子

まずはこの場をお借りして、能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回は、災害と生殖看護の研究に関するメッセージのご依頼をいただきました。東日本大震災で経験し考えたことをお伝えすることで、少しでも会員の皆様のお役に立つことができればと思います。

東日本大震災は2011年3月11日14時46分に発生、マグニチュード9.0、最大震度7.0の地震でした。宮城県ではかねてから発生が予測されていた宮城県沖地震に備えて建物の耐震補強が進んでいたため、仙台市内の建物はほとんど倒壊しませんでした。一方、地震により発生した津波による被害が甚大であり、死亡原因の90.6%が水死でした。この震災に関して消防庁は、2023年3月現在の死者は19,765人、行方不明者は2,553人と公表しています。復興庁は、震災関連死者は3,794人、避難者は30,884人と公表しています。10年以上経った今でも震災の爪痕は大きく残っています。

2011年当時の生殖看護の先行研究ではすでに、不妊治療を受ける多くの女性が不安の強いストレス状態にあること、複雑な心理的特徴を持っていること、等が明らかになっていました。そこへ更に震災による経済的損失や生活の不安定さが加われば、私費診療で高額な医療費が必要だったARTを受ける患者は減少するのではないかと考えていました。しかし実際には、宮城県で震災後に不妊治療を新規に始める夫婦が著増、ARTの実施件数も増加していたのです。被災後の厳しい状況の中、不妊に悩む夫婦をARTに駆り立てている原動力は何なのだろうか、と文献検索を行いましたが見つかりませんでした。私は、被災地で生殖看護に携わる者の責務として、東日本大震災の経験が挙児希望や治療行動にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにしておかなければならないと考え、震災後3年経った2014年に宮城県でARTを受けている女性に対して質問紙による量的研究を行いました。有効回答は191名でしたが、3人に1人が震災を経験したことで挙児希望を強くしており、精神の健康状態や治療行動にも影響を及ぼしていることが分かりました。震災という生命の危機的状況を経験したことで「命の連鎖に加わりたい」という希求がより強化されているものと考えられました(詳細は2017年の日本生殖看護学会誌をご参照ください)。

現在はARTも保険適用となりましたが、震災等の自然災害で生命の危機を感じた人の心には共通するものがあると思います。被災後に不妊治療に取り組む方にはこれまで以上にきめ細やかな精神支援が必要になってきます。また医療従事者も被災者です。自らの生活をさておいて職務に尽力されている方も多いと思います。復興再建には長い時間がかかります。医療従事者の心身の健康を守っていくためのケアの提供も、今後より重要になってくると思います。



日本生殖看護学会 理事および監事選挙告示

選挙は、「日本生殖看護学会理事および監事の選出規程」に則って実施されます。前回選挙と変わった点は次の通りです。

- ・ 役員の任期は3年となりました。ただし、理事の任期は再任を妨げないが連続しては3期までです。監事の任期は再任を妨げないが連続しては2期までです（会則第17条）。
- ・ 理事10名のうち、8名は会員の中から選挙により選出し、2名は理事長推薦理事とし、会員の中から理事長が推薦します（理事および監事の選出規程第2条）。
- ・ 監事2名は会員の中から選挙により選出し、その際、理事8名とは別に投票していただきます（理事および監事の選出規程第2条）。
- ・ 投票にマイページを用いた電磁的方法を取り入れます。ただし、希望者には郵送による方法を提供します。郵送による投票を希望される方は4月30日17時までに日本生殖看護学会事務局のメールアドレスjsfnjimu@gmail.comにご連絡ください。

選挙管理委員会が組織されました。次期の理事および監事選挙に関して、この選挙管理委員会が責任を持って執り行わせていただきます。

選挙管理委員会 委員長：青木恭子
委員：五十嵐ゆかり 有川淑恵

下記のとおり理事および監事の選挙が実施されます。

投票サイトの案内は電子メールにて、希望者には郵送用投票用紙を、各選挙人の連絡先にお送りしますので指定の期日までに投票してください。

1. 選挙人および被選挙人

2024年3月31日までに会費を納入した会員を選挙人および被選挙人とします。

2. 選挙の実施および方法

- (1) 投票方法 学会ホームページのマイページを用いた電磁的投票（オンライン投票）
- (2) 投票期間 2024年5月13日（月）0：00～5月26日（日）23：59
（郵送による投票の場合は5月26日当日消印有効）
- (3) 郵送による投票の送付先 〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3
武蔵野大学看護学部
日本生殖看護学会選挙管理委員会 青木恭子宛
- (4) 開票 2024年6月1日（土）

不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.24

私にとっての生殖看護

東邦大学医療センター大森病院 永野妙子

聖路加看護大学(現:聖路加国際大学)の認定コース1期の同期である田中敦子さんからバトンを受け取り、私の生殖看護に携わった年月を振り返ってみました。新人看護師として一般病棟に配置され、その後何度目かの異動で当時は男性のみが対象だったリプロダクションセンターへ。この時30歳、ここで初めて男性不妊に触れたことが私の生殖看護の原点となりました。しかも、当時の看護師は私一人だったので、患者さんから学んだことを積み重ね、精一杯頑張っているうちにここまできたように思います。

最初は兄、姉、先輩のように全てを学ばせてもらった患者さん達が、時が移り入れ替わり、私の方は歳を重ね、いつの間にか同僚くらいの年代になり、不妊の問題を同じ目線で共有していました。そしてさらに年月を経て、気づけば妹、弟、後輩のような存在になって、私からの支援を必要としてくれることに喜びを感じるようになりました。それが今では娘や息子のよう年代の患者さんから、実際に「永野さんはお母さんみたい」と言われるようになりました(笑)。これは患者さんの年代が狭い生殖医療の現場だからこそこの体験ではないでしょうか。今後は、患者さんを、目に入れても痛くないという噂の、孫のように感じられるのかもしれないと思うと楽しみです。

次は東京慈恵会医科大学付属病院の稲川早苗さんにバトンを渡します。

日本生殖看護学会のメーリングリスト作成に向けて

今年度、本学会はメーリングリストを作成します。研修やセミナーなどの速やかな情報提供、そして、将来的には電子版ニュースレターの発信も含め、電子化を目指していきます。そのためには、最新のメールアドレスを含むマイページの登録が必要です。また、不妊症看護認定看護師の方は、資格の欄に必ず入力をお願いいたします。多くの会員の方々にはご登録いただきましたが、未登録の方は、早急にご登録いただきますようよろしくお願いいたします。

 日本生殖看護学会
Japanese Society of Fertility Nursing



理事会報告

第1回臨時(書面)理事会

日時：2023年10月10日(火)

場所：書面による

出席者：上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 奥島, 中村,
野澤, 小松原, 村本, 森恵, 崎山

【審議事項】

1. 入会審査：3名の入会, 1名の退会, 1名の強制退会取り消しを承認

第1回Web理事会

日時：2023年11月17日(金) 18:00～20:01

方法：Zoom

出席者：奥島, 上澤, 坂上, 崎山, 實崎, 中村, 村本,
森明

遅刻：清水, 野澤, 森恵

早退：小松原

オブザーバー：波崎, 林(敬称略)

【報告事項】

1. 波崎由美子学術集会長より、第21回日本生殖看護学会学術集会の開催報告
2. 次回の林はるみ学術集会長より、第22回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況の報告
3. 会計担当：清水理事より、2023年度予算 最終的に理事会で承認を得た予算書ではない予算書が総会で表示され、承認を受けてしまったミスの経緯について
4. 上澤理事長より、20周年記念事業「生殖看護テキスト出版」会計収支報告(途中経過)について
5. 教育推進委員会：なし
6. 広報委員会：崎山理事より、
 - ・ニュースレター66号について
 - ・今後メーリングリスト作成を進めていく
 - ・学会のリーフレットを作成し、関連学会の学術集会等での広報活動にも力を入れていく
7. 編集委員会：實崎理事より、
 - ・専任査読委員のご登録およびご紹介のお願いについて
 - ・学会誌第21号について
 - ・認定看護師の活動に関する事前説明会および意見交換会について
8. 将来検討委員会：なし
9. 実践開発委員会：小松原理事より、相談員派遣について
10. 看保連対応WG：なし

11. 健やか親子21推進協議会WG：坂上副理事長より、健やか親子21推進協議会から学会に向けて届くお知らせやイベント情報については、10月より理事の先生方にはメールにてお知らせをしていることが報告
12. 総務：森明理事より、業務・会員動向について
13. その他

- ・上澤理事長より、生殖看護認定看護師教育課程準備の進捗状況について
- ・坂上副理事長より、将来検討委員会にて、会員のニーズ調査を行う際に、メーリングリストができるのであれば、活用をしたいとの要望が伝えられた

【審議事項】

1. 学会誌の電子化について、實崎理事より説明
2. 将来検討委員会主催研修会およびニーズ調査について、坂上副理事長より説明
3. 2023年度認定看護師ポストコース研修会企画(案)について、野澤理事より説明
4. 入会審査について、森明理事より提示され、3名の新規入会が承認
5. 選挙および選挙管理委員の推薦について、森明理事より、説明
6. その他、坂上副理事長より、千葉県の事業によるブレコンセプションケアの動画作成の進捗状況と当学会ホームページとのリンクについて

第2回臨時(書面)理事会

日時：2023年12月5日(火)

場所：書面による

出席者：上澤, 森明, 實崎, 坂上, 清水, 奥島, 中村,
野澤, 小松原, 村本, 森恵, 崎山

【審議事項】

1. 入会審査：3名の入会を承認

これから行われる学術集会・研修会情報(2024年3月～2024年6月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会HP / 運営事務局
4月	13日(土) ～14日(日) オンデマンド 25日(木) ～5月7日(火)	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター養成講座(第53回)	コングレスクエア 日本橋 (東京都中央区)	https://www.jsinfrc.com/
	19日(金) ～21日(日)	日本産科婦人科学会学術講演会(第76回) ともに歩む、広がる産婦人科の未来へ	パシフィコ横浜 ノース (神奈川県横浜市)	https://www.c-linkage.co.jp/jsog2024/contents/outline.html 【運営事務局】 株式会社コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町2 TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693 E-mail: jsog2024@c-linkage.co.jp
5月	11日(土) ～12日(日)	AYAがんの医療と支援のあり方 研究会学術集会(第6回) AYA世代がん患者が持つ“力”を 発揮出来る社会を考え、 彼らの“しなやかさ”に学ぶ	聖路加国際大学 アリスホール (東京都中央区)	https://square.umin.ac.jp/ayaken-cong6/index.html 【運営事務局】 株式会社コンベンションプラス 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 湯島ファーストジェネシスビル5階 TEL: 03-4355-1138(代表03-4355-1135) FAX: 03-6837-5339 E-mail: ayaken-cong.6@convention-plus.com
	12日(日)	日本不妊カウンセリング学会学術 講演会(第23回) 中医学・漢方による不妊カップルへの サポート	日本教育会館 一ツ橋ホール (東京都千代田区)	https://meeting.letterpress.co.jp/jsinfrc23/ 【運営事務局】 レタープレス株式会社 東京営業所 〒110-0005 東京都台東区上野3丁目22番4号 MOTビル 6階 E-mail: jsinfrc_coordinator@letterpress.co.jp
6月	16日(日)	日本母性看護学会学術集会(第26回) 女性の“生きる”を支える ～ Health & Rightsを基軸にして～	兵庫県立大学 : 明石看護キャンパス (兵庫県明石市)	http://jsmn26.umin.jp/outline.html 【運営事務局】 株式会社インターグループ内 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル TEL: 06-6372-9345 FAX: 06-6376-2362 E-mail: jsmn26@intergroup.co.jp

COVID-19の影響を受け、オンラインでの開催学会が増え、遠方でも参加しやすくなりました。今までなじみのなかった学会もこの機会に参加してはいかがでしょうか。

本学会は健やか親子21の推進本部の参加団体です

日本生殖看護学会は健やか親子21の推進本部の参加団体となっています。「健やか親子21」は、平成13年から開始した、母子の健康水準を向上させるための様々な取組を、みんなで推進する国民運動計画です。「健やか親子21」は平成27年度から第2次計画を開始し、「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現を目指しています。成育基本法や子ども基本法はこの計画を推進する法律であり、担当庁は厚生労働省から子ども家庭庁へと移行しました。健やか親子21のサイト(<https://sukoyaka21.cfa.go.jp/>)には、不妊症・不育症、プレコンセプションケアなどのわかりやすい情報が掲載されています。

こどもまんなか
こども家庭庁

事務局からのお知らせ

- 第22回学術集会、編集委員会への問い合わせは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
- 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、ホームページ、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで気軽にご連絡ください。
- 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
- 異動・転居された方は必ずホームページのマイページから住所・勤務先変更してください。変更が出来ない方は事務局にご連絡ください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
- 会員数329名(2024年1月20日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のあるお知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入

会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。また、ホームページ画面から入会申込みができます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

東京工科大学医療保健学部看護学科内

E-mail: jsfnjimu@gmail.com

ホームページ <https://jsfn.org/>

ゆうちょ銀行(振替)

口座番号: 00170-2-333413

加入者名: 日本生殖看護学会

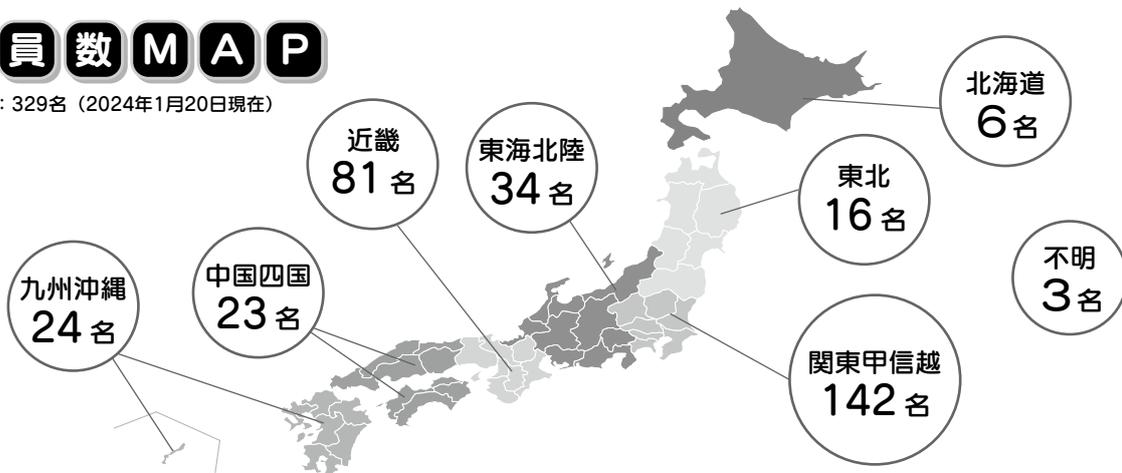
ゆうちょ銀行(振込)

〇一九(ゼロイチキユウ)店(019) 当座0333413

口座名義: 日本生殖看護学会

会員数MAP

会員数: 329名(2024年1月20日現在)



原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は広報委員会(sakiyama.takayo@gmail.com)までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2024年5月17日(金)を予定しています。

編集後記

2024年の始まりは能登半島地震と航空機事故が続いて起こり、目を覆いたくなるような映像が続きました。生命や生活の大切さ、地域での自助・共助の大切さ、そして専門家としてのリスク管理や危機管理の大切さを痛感する日々です。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子